

I. 青少年の健全育成

次代を担う青少年の健全育成のためには、家庭、学校、地域等すべての市民が連携、協力のうえ、それぞれの役割と責任を果たし、より良い環境づくりを推し進めることが重要となっています。

このことから、令和2年度において、以下のとおりさまざまな活動・運動等の取り組みが行われました。

1. 青少年の健全育成推進のための市民活動

青少年の健全育成を推進する先導的組織として、昭和59年に青少年の関係機関や民間団体等を構成メンバーとする「根室市青少年健全育成市民会議」（以下、市民会議という。）が設立され、現在30団体・10個人が加入し、家庭の健全化や青少年の育成活動の強化および非行防止や、社会環境の浄化を図るための諸活動を行っています。

（1）青少年健全育成のための啓発活動

市民の青少年の健全育成に対する理解を深め、意識の高揚と活動への積極的参加を促す啓発活動を、市民会議等が中心となり進めております。

- 啓発のため、「大人が変われば子どもも変わる。まず、行動や後ろ姿で示せる大人に」のイラスト入り看板を市内小中学校の全校に設置しております。
- 携帯電話のルールづくりと、フィルタリングサービスの活用啓発パンフレットを作成し、小・中・高校および販売会社へパンフレットの配布を行いました。
- 「道民家庭の日」リーフレットを配布し、家族の安らぎと、ぬくもりを分かち合うための啓発を行いました。

（2）有害環境浄化等の運動

心身ともに成長過程にある青少年にとって、社会環境からの影響は、極めて大きいものがあることから、市民会議が中心となり有害図書排除等の環境浄化対策を進めてきました。

その結果、有害図書類の自動販売機は、平成9年以降設置されていません。

有害図書類に関しては、今まで「北海道青少年保護育成条例」で規制されておりましたが、平成19年4月より「北海道青少年健全育成条例」に改正され、図書類取扱業者の努力義務が加わったほか、有害がん具類の規制が新たに設けられました。

また、インターネットやスマートフォンの急速な普及による青少年への影響に対応するため、平成26年4月よりフィルタリング機能に関して、スマートフォン等販売事業者による説明が義務化されています。

また、平成30年2月に「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が改正されたことに伴い、北海道では次代を担う青少年の健全育成や非行防止のため、条例を改正し、保護者・事業者等への義務規定が設けられました。

（3）「青少年さわやか活動賞」の表彰の実施

市内に居住する学齢始期から19歳未満の個人・団体を対象として、社会の模範となる行為を表彰し、青少年の誇りと自信を高め、より良い社会の一員としての豊かな心と、実践力を育成することを目的に、昭和61年度より実施しており、（平成20年度までは「青少年善行表彰」の名称で実施）これまでの表彰件数は、138件（個人87件、団体51件）となっています。

令和2年度は、3個人・2団体が各学校等で表彰されました。（表 1-1・1-2 参照）

令和2年度「青少年さわやか活動賞」受賞者一覧（個人）

表 1-1

No.	氏 名	年 齢	所 属	活 動 内 容
1	長岡 冴奈 (ながおか さえな)	16	北海道 根室高等学校	○長岡さんは書道部の作品制作を通して、最大限の自身の表現を引き出すべく、日頃から研鑽を積んでいます。 ○作品への意欲は凄まじく、第54回全道高等学校書道展・研究大会に出品した作品は、第44回全国高等学校総合文化祭に推薦される17点の中の1名に選出されました。
2	栗林 歩夢 (くりばやし あゆむ)	17	北海道 根室高等学校	○栗林さんは1年次の夏から写真部に入部し、部内で企画する撮影会や学校行事において積極的に撮影活動を行っております。 ○釧根支部高等学校写真展では銅賞を受賞し、全道大会に出場するなど、今後も一層の活躍が期待されています。
3	石垣 壱樹 (いしがき いつき)	12	根室スイミング クラブ (花咲小学校 6年)	○石垣さんは幼児期から水泳を始め、今年度は新型コロナウイルスの影響で練習もままならない中、公益財団法人日本水泳連盟公認泳力検定に挑戦、見事合格しました。 まじめで礼儀正しく、努力家の性格で、自己の水泳技術力向上のみならず、清掃美化活動やリサイクル運動にも積極的に取り組み、社会貢献活動に力を注いでおります。 何事にも果敢に挑戦する、後輩たちの模範的な活動を行っています。

令和2年度「青少年さわやか活動賞」受賞者一覧（団体）

表 1-2

No.	団 体 名	活 動 内 容
1	北海道根室高等学校 吹奏楽局 (35名)	○北海道根室高等学校吹奏楽局は「心に響く音楽を」を部訓とし、演奏技能の研鑽のみならず、音楽を通して自らの人間性を高めていくことを目標として、図書館や大地みらい信用金庫本店ロビーなど市内各所で演奏活動を積極的に行うなど、地域に根ざした活動に力をいれています。
2	根室市落石中学校 生徒会 (14名)	○根室市落石中学校生徒会は、「資源回収活動」「落石駅清掃活動」「落石味祭りへの参加」など長年にわたり地域住民と協働し地域社会を支える活動を行っています。 これらの活動で地域の人々とふれあい、思いやり、地域を盛り上げてきました。

2. 豊かな青少年を育むPTA活動

市PTA連合会では、市民会議や市教育委員会等と連携協力し、青少年の健全育成のために組織的な活動を積極的に行なっています。また、諸活動の重点課題を定め、研修会や非行防止などの活動を行なっています。

「家族のルールをテーマにした三行詩」表彰の実施

令和2年度は「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」をテーマにした三行詩コンクールを実施し、児童・生徒はじめ高校・一般市民から多数の応募があり、最優秀作品が各学校で表彰されました。

令和2年度 三行詩コンクール最優秀賞受賞作品一覧

テーマ 「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」

部 門	作 品	受 賞 者
小学校低学年の部	わたしがわらうと かぞくはわらう そういうまい日がつづくといいな	成央小学校 2年 結城 穂乃夏
〃 中学年の部	めにみえない でもつながっている かぞくのきずな	花咲港小学校 3年 松田 穂音
〃 高学年の部	会話がはずむ朝ごはん 家族そろって「いただきます」 この時間が私のやる気スイッチ	厚床小学校 6年 横峯 葉子
中学校の部	反抗期だけど 心の中では反省期 ここまで育ててきてくれてありがとう	柏陵中学校 1年 佐藤 未羽
一般の部	みんなやってるからいいじゃん 何気に放った活字たち 知らぬ誰かの未来（あした）を奪う	光洋中学校 佐藤 愛子

※学校・学年は受賞時のものです。